

きょうと介護・福祉ジョブネット チーム活動方針について（案）

協働戦略検討チーム 令和6年度活動方針案

■活動目的

介護・福祉人材の確保・定着に関する諸課題に対応するため、事業者団体、京都府、市町村、養成校、職能団体、ハローワーク、人材センター等参加団体が課題を共有し、各課題に協働して取り組む。

令和6年度は、生産性向上（業務改善によるサービスの質の向上）による人材確保・定着を図るための課題と必要な取組の検討を行う。また、引き続き、「外国人介護人材支援連絡会議」として外国人介護人材に関する情報共有や関係団体が連携した取組の検討を行う。

■活動内容 <年4回程度の会議開催及び関連事業の企画・参画>

- ・「介護・福祉現場で生産性向上の取組を進め、人材の確保・定着を図るために必要な支援」についてとりまとめる。
- ・業務手順の見直しや、専門性を鑑みた役割分担（サポート人材の導入含む）などの業務改善、テクノロジーの活用にあたっての現場での課題と必要な取組についての検討
- ・外国人介護人材に関する関係機関の情報共有や「外国人介護人材支援センター」の運営状況等に係る情報共有、取組の検討

■メンバー構成

多様な人材受入のための取組を推進する本チームの活動目的に賛同して参加いただける方
他団体・関係機関等との連携の観点から本チームの検討内容について、各団体で検討しとりまとめができる方

仕事理解促進チーム 令和6年度活動方針案

■活動目的

介護・福祉の仕事が将来、子どもたちの職業選択の1つとなるよう、理解促進に資する事業を広域的に推進。さらに、進路決定をする上で重要な立場にある、中学・高校教員、保護者等に対して、理解促進事業を企画・実施

■活動内容 <月1回程度の会議開催及び関連事業の企画・参画>

- ・中高生の進路選択において、重要な立場にある教員を対象とした福祉職場理解のためのセミナー開催
- ・小中高校での福祉体験や福祉職場理解を効果的に進めていくための方策の検討と地域の社会福祉協議会と連携して教育関係機関へのはたらきかけ
- ・小中学生を対象とした福祉体験や福祉の仕事理解を広めるためのはたらきかけ 等

■メンバー構成

小中高校生を対象とした介護・福祉体験事業等の受け入れや、地域教育関係者との交流を実践的に行っている団体・事業所・施設の方
※その他、認証事業者からメンバー2～3名を公募

業界育成チーム 令和6年度活動方針案

- 活動目的 福祉業界を“他産業との競争に負けない”業界とし、特に若者の参入を促進するため、業界の魅力を発信できる人材の育成及び活用に関する検討・取組を行う。
- 活動内容 <月1回程度の会議開催及び関連事業への参画>
 - ・福祉人材育成認証制度及びその関連事業を活用し、京都府の福祉業界・福祉職場の魅力発信ができる人材を育成する。
 - ・福祉を学んだ経験のない若者に対して、福祉の仕事に興味を持ってもらう魅力発信の方法を検討する。
- メンバー構成 若者への効果的な魅力発信等、人材確保に関する課題に対する取組について検討し、府事業等の場実践的に関わり、各イベントに柔軟に参加いただける方
 - ※その他、認証事業者からもメンバーを公募(4名まで)
 - ※コーディネーター1名を配置予定

北部・福祉の学び創造チーム 令和6年度活動方針案

- 活動目的 北部地域の魅力や地域資源を活かした福祉の学びのプログラムを構築し、市民(小中高校生、大学生、地元住民、移住者等)と福祉事業所が福祉の学びの活動を通してつながる環境を構築する。
- 活動内容 <4か月に1回程度の会議開催>
 - ・大学生を対象とした北部地域の福祉を学ぶフィールドワークプログラムの構築(受入プログラムのリスト化と受入体制整備、受入担当者の養成)
 - ・移住を想定した、暮らしと福祉の仕事がセットになった受入プログラムの構築
 - ・小中高校生を対象とした北部地域ならではの福祉理解プログラムの構築と実施
- メンバー構成 学生や市民の受入実績があり、受入プログラムについて検討できる方
 - <介護・福祉関係団体>
 - 北部の事業所等において実務経験がある方
 - ※その他、きょうと福祉人材育成認証制度認証事業者から
 - メンバー2～3名を公募
 - ※コーディネーター1名を配置予定